

# 創造経営コンサルタント部会

## 令和6年度 事業計画

### 活動基本方針

創造経営コンサルタントの使命は、自己の生命力開発を基本に、会計の専門家として創造経営理論を普及し、自社・自事務所をモデルとして関与先企業・日本創造経営協会支部会員企業・地域企業の三代75年経営実現および中核企業を育成を通じた企業群づくりにある。

本年度の部会活動基本方針は、日本創造経営協会の年度方針にならい、

「令和における日本的経営の創造 – 日本の基層文化と新しい変化の融合 –」

とする。

### I. 重点方針【創立50周年に向けた持続可能な創造経営コンサルタント部会づくり】

創造経営コンサルタント部会(以下、当部会)は、本年に創立40周年を迎えた。本年度は【来る創立50周年に向け、持続可能な創造経営コンサルタント部会・創造経営コンサルタント、部会員事務所づくりに向けて内を固める】を重点方針とする。

持続可能性の前提は部会員事務所とその関与先の成長である。外部経営環境変化、特に生成AIに代表される更なるデジタル化を背景に、いわゆる会計事務所に求められる役割・機能が大きく変化することは明白で、そのためには【関与先の成長に貢献する創造経営コンサルタント・部会員事務所の深化と探索、それに基づく革新】が不可欠である。

部会員事務所それぞれが、自社・自事務所の将来的な存在価値を見定め、それに向けた商品開発・人材開発の着実な、革新的な取り組みにより【内を固める】ことを通じて、創造経営コンサルタント部会が活性化する。

### II. 重点施策

#### 1. 創造経営コンサルタント事務所の三代75年経営への取り組み【現在機能】

部会員事務所代表者とその補完者は、自社・自事務所の三代75年経営・永続企業づくりのために日本創造経営協会が企画・運営する【SDNET-300】に参加し、「知の深化」、「知の探索」を通じて、自社・自事務所像・人材像を明確に描き、長期的な事業展開を構想する。合わせて、取組成果を【拡大MSC-NET研究会】にて発表し、相互啓発を図る。

## 2. コンサルティングマインド醸成を通じた次世代育成[将来機能]

部会員事務所代表者とその補完者に共通する課題として、自社・自事務所に属する30歳代～40歳代メンバーのキャリアプラン形成がある。部会員事務所を取り巻く外部経営環境への対応としてコンサルティングマインドを磨きながら、他部会員事務所の将来機能との交流を通じて、キャリアプランと自社・自事務所貢献を構築する。

## 3. 研究開発[現在機能][将来機能]

現在機能においては、グローバルな視点に立った「知の探索」として、令和7年度に海外視察を企画し、そのための研究を行う。

将来機能においては、現在、日本創造経営グループで開発中である『経営体質改善パッケージ』（従来の、いわゆる『7つのパッケージ』の革新版）の自社・自事務所導入・関与先展開について研究・事例適用を行う。

# III. 事業活動（研究会・継続研修）

## 1. 継世代ネットワーク研究会[現在機能]

研究会メンバーは、日本創造経営協会が企画・運営するSDNET-300に参加し、毎回の基調研究により最新の創造経営理論・創造経営マネジメントを学びながら、「知の深化」、「知の探索」の機会を得て、ディスカッションを通じて自社・自事務所の長期的な事業展開と事業継承を構想する。

部会員事務所はもとより、部会員事務所以外の同業者・一般企業も含め、「深化と探索」のための『企業訪問』を行う。[登録12事務所のうち、毎回8事務所程度の参加を見込む。]

## 2. マスター創造経営コンサルタントネットワーク研究会[現在機能][将来機能]

研究会メンバーは、当研究会が創造経営コンサルティング・創造経営教育を通じて関与先の経営体質改善を実現するコンサルタント育成の場であることを常に認識し、関与先改善、そのための商品づくり、指導力の基礎となる資質向上に取り組む。特に、『経営体質改善パッケージ』の開発に歩調を合わせ、部会員事務所における関与先の成長に貢献するサービスとして導入するための研究・事例適用を行う。合わせて、『継世代ネットワーク研究会』の研究成果を発表・深耕する機会とする。

従前から参画しているメンバー(コア・メンバー6名)は、コンサルティング業務実践による診断・指導関与先の経営体質改善はもとより、その成果を部会員事務所・部会員に向けて『発信する役割』をも担うこととし、コンテンツ制作にも取り組み、成果を当部会ホームページを通じて発信する。

また、コア・メンバー以外の新規参加者は、『経営体質改善パッケージ』による創造経営コンサルティング体系の習得、創造経営大学校卒業者については、創造経営コンサルタント資格登録に向けて、創造経営大学校AISコース復習と、その関与先適用を行う。リアル開催・リモート開催を組み合わせて活動する。[継世代ネットワーク研究会事務所を中心に、6名程度の新規参加者を見込む。]

### 3. 次世代ネットワーク研究会（若手研究交流会）〔将来機能〕

キャリアプラン形成・コンサルティングマインド醸成に取り組みながら、部会員事務所に共通する「問題解決・課題解決」を通じ、部会員事務所・当部会の10年後を支える人材育成とネットワークを構築する。「経営体質改善パッケージ」による創造経営マネジメントシステムの学びを通じて、参加各社・各事務所の『ミッション・ビジョン・バリュー』を理解し、自身の貢献を考える。〔7事務所10名程度の参加者を見込む。〕

### 4. 継続研修

創造経営コンサルタントの業務品質保証・コンサルタント資質保証、部会活性化の基盤が継続研修にあることを念頭に企画・参加推進・開催する。

年二回の開催を確実に行う。

## IV. 部会運営

### 1. 特別委員会

部会の業務執行機関として明確に位置づけ、重点方針・重点施策の具体化を強力に推進する。

合わせて、研究開発機能として、部会活性化・部会員増強・『創造経営コンサルタント像』構築・『部会員事務所基本戦略』構築の中心的役割を果たす。そのために、日本創造経営協会が企画・運営するSDNET-300に参加し、最新の創造経営理論・創造経営マネジメントを学び、「深化」と「探索」を行う。〔SDNET-300のディスカッション時間も活用する。〕

### 2. 幹事会

意思決定機能・監督機能を発揮いただくよう常任幹事に情報提供・働きかけを行い、計画的に幹事会を開催する。〔2回開催を予定する。〕

### 3. 予算編成基準

正味財産の有効活用として、『経営体質改善パッケージ』を創造経営コンサルタント部会・部会員事務所向けに昇華するための研究開発費を予算に織り込み、その成果物を部会員事務所に無償または低廉な有償で還元する。

## V. その他

### 1. 会員サービス

各種媒体を通じて、情報発信を行い、部会活動について情報を共有する。

情報環境を整備し、研究会事業による開発商品を活用いただけるよう広報する。

### 2. その他

以上